

令和6年度 自己評価書

学校名	北海道虻田高等学校
-----	-----------

1 本年度の重点目標

- (1)個性と創造性を伸ばすとともに、自ら学ぶ心を持った生徒を育てる。
 (2)礼儀正しい生活習慣の定着とともに、奉仕の心を持った生徒を育てる。
 (3)社会の変化に主体的に対応し、自己実現を図る意欲と能力を育てるとともに、自立の精神に溢れ、社会的責任を果たす心を持った生徒を育てる。
 (4)何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ健康な身体と生命を尊ぶ心を持った生徒を育てる。

2 自己評価結果

		評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目				
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	シラバス等を活用しながら教科指導目標を明確にし、学習指導法や評価法等の研究に努めている。		B	B	生徒個々の学力に応じた個別指導を強化し、基礎基本の定着、進路実現に向けた学力向上を図る。また、地域連携を深め、体験学習等を充実させ、(地域)社会を創生する人材の育成に努める。
	各教科等の授業の状況	基礎基本の定着を図るために適切な指導を行っている。		A	A	
		生徒個々の学習状況に配慮し、わかる授業の実施に努めている。		A	A	
		生徒が家庭学習に取り組むような工夫をしている。		B	B	
生徒指導	生徒指導の状況	生徒に基本的な生活習慣が身に付くように適切な指導を行っている。		B	B	安心安全な学校づくりを推進するため、家庭・地域との連携を深め「チーム学校」として生徒を見守る体制を整備する。
		生徒指導にあたり十分に保護者と連携をとっている。		A	A	
	教育相談の状況	いじめ防止に向けた取組や発生時の対応を適切に行っている。		A	A	
		生徒の様々な悩みに対応した適切な指導を行い、親身になって教育相談を行っている。		A	A	
進路指導	進路指導の状況	3年間を見通した系統的・計画的な進路指導を行っている。		A	A	各学年における指導のねらいを明確にするとともに外部団体とも連携し、生徒のキャリア形成に向けた効果的な体制を整備する。
		進路実現のため生徒や保護者との面談等を充分に行っている。		A	A	
		進路に関する情報や資料等が効果的に活用されている。		A	A	
特別活動・健康・安全指導	特別活動の状況	生徒はボランティア活動に積極的に参加している。		B	B	地域と連携を図り、社会貢献や体験的学習を通じて、生徒一人ひとりの自己肯定感を高める。
	保健・安全指導の状況	健康管理や安全指導を適切に行っている。		A	A	
教職員資質向上	研修の状況	校内研修は充分に実施している。		B	B	教職員のコミュニケーションを高め、互いに学び合う意識を醸成するとともに、課題の共有とやりがいを実感できる職場環境の充実に努める。
	働き方改革の推進	働き方改革を意識し、調和のとれた生活の実現を図るため、ワークライフバランスに取り組んでいる。		A	A	

3 次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- 1 教育課程・学習指導について、生徒の学力に応じた個別指導で基礎を固め、進路実現と学力向上を目指す。地域連携による体験学習で、社会を創生する人材を育成する。
- 2 生徒指導について、安心安全な学級づくりに努めるため、いじめの未然防止、早期発見、組織的な対応に努める。
- 3 進路指導について、生徒のキャリア形成につながる効果的な指導に努める。
- 4 健康・安全指導について、危機管理能力の向上のため、外部機関との連携を強化し、防災教育に努める。
- 5 教職員資質向上について、働き方改革を推進するとともに、互いに学び合う意識を醸成し、やりがいを実感できる職場環境の充実に努める。

令和6年度 学校関係者評価

学校名	北海道虻田高等学校
-----	-----------

組織名	学校運営協議会
評 価 者	
委員5名	

1 本年度の重点目標

- (1)個性と創造性を伸ばすとともに、自ら学ぶ心を持った生徒を育てる。
 (2)礼儀正しい生活習慣の定着とともに、奉仕の心を持った生徒を育てる。
 (3)社会の変化に主体的に対応し、自己実現を図る意欲と能力を育てるとともに、自立の精神に溢れ、社会的責任を果たす心を持った生徒を育てる。
 (4)何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ健康な身体と生命を尊ぶ心を持った生徒を育てる。

重点目標の適切さ
よいと思う

2 自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方策の適切さ
		小項目							
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	シラバス等を活用しながら教科指導目標を明確にし、学習指導法や評価法等の研究に努めている。		B	B	生徒個々の学力に応じた個別指導を強化し、基礎基本の定着、進路実現に向けた学力向上を図る。また、地域連携を深め、体験学習等を充実させ、(地域)社会を創生する人材の育成に努める。	A	A	A
		基礎基本の定着を図るために適切な指導を行っている。		A	A				
	各教科等の授業の状況	生徒個々の学習状況に配慮し、わかる授業の実施に努めている。		A	A				
		生徒が家庭学習に取り組むような工夫をしている。		B	B				
評価者の意見等	・生徒がどの様な学びを求めているかという視点を持ち、カリキュラムマネジメントや、カリキュラムデザインをお願いしたい。								
生徒指導	生徒指導の状況	生徒に基本的な生活習慣が身に付くように適切な指導を行っている。		B	B	安心安全な学校づくりを推進するため、家庭・地域との連携を深め「チーム学校」として生徒を見守る体制を整備する。	A	A	A
		生徒指導にあたり十分に保護者と連携をとっている。		A	A				
	教育相談の状況	いじめ防止に向けた取組や発生時の対応を適切に行っている。		A	A				
		生徒の様々な悩みに対応した適切な指導を行い、親身になって教育相談を行っている。		A	A				
評価者の意見等	・いじめの噂等は聞いたことがなく安心している。今後も生徒に寄り添った指導をお願いしたい。								
進路指導	進路指導の状況	3年間を見通した系統的・計画的な進路指導を行っている。		A	A	各学年における指導のねらいを明確にするるとともに外部団体とも連携し、生徒のキャリア形成に向けた効果的な体制を整備する。	A	A	B
		進路実現のため生徒や保護者との面談等を充分に行っている。		A	A				
		進路に関する情報や資料等が効果的に活用されている。		A	A				
評価者の意見等	・今後も生徒の進路希望実現に向けて配慮をお願いしたい。								
特別活動・健康・安全指導	特別活動の状況	生徒はボランティア活動に積極的に参加している。		B	B	地域と連携を図り、社会貢献や体験的学習を通じて、生徒一人ひとりの自己肯定感を高める。	A	A	A
	保健・安全指導の状況	健康管理や安全指導を適切に行っている。		A	A				
評価者の意見等	・今後も学校の経験が、将来に繋がるようになるよう指導をお願いしたい。								
教職員資質向上	研修の状況	校内研修は充分に実施している。		B	B	教職員のコミュニケーションを高め、互いに学び合う意識を醸成するとともに、課題の共有とやりがいを実感できる職場環境の充実に努める。	A	A	A
	働き方改革の推進	働き方改革を意識し、調和のとれた生活の実現を図るため、ワークライフバランスに取り組んでいる。		A	A				
評価者の意見等	・働き方改革の一層の推進に向け、ICT機器を活用した校務の効率化を継続的に進めるようをお願いしたい。								

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月31日

北海道教育委員会教育長 様

北海道虻田高等学校長 千葉 佳貴 印

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1)個性と創造性を伸ばすとともに、自ら学ぶ心を持った生徒を育てる。
 (2)礼儀正しい生活習慣の定着とともに、奉仕の心を持った生徒を育てる。
 (3)社会の変化に主体的に対応し、自己実現を図る意欲と能力を育てるとともに、自立の精神に溢れ、社会的責任を果たす心を持った生徒を育てる。
 (4)何事にも積極的に参加し、困難に打ち克つ健康な身体と生命を尊ぶ心を持った生徒を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着を図るために適切な指導を行っている。 生徒個々の学習状況に配慮し、わかる授業の実施に努めている。 生徒が家庭学習に取り組むような工夫をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がどのような学びを求めているかという視点を持ち、カリキュラムマネジメントや、カリキュラムデザインをお願いしたい。
改善方策	生徒個々の学力に応じた個別指導を強化し、基礎基本の定着、進路実現に向けた学力向上を図る。また、地域連携を深め、体験学習等を充実させ、(地域)社会を創生する人材の育成に努める。	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止に向けた取組や発生時の対応が適切に行われている。 生徒の様々な悩みに対応した適切な指導を行い、親身になって教育相談を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめの噂等は聞いたことがなく安心している。今後も生徒に寄り添った指導をお願いしたい。
改善方策	安心安全な学校づくりを推進するため、家庭・地域との連携を深め「チーム学校」として生徒を見守る体制を整備する。	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した系統的・計画的な進路指導を行っている。 進路に関する情報や資料等が効果的に活用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も生徒の進路希望実現に向けて配慮をお願いしたい。
改善方策	各学年における指導のねらいを明確にするとともに外部団体とも連携し、生徒のキャリア形成に向けた効果的な体制を整備する。	
特別活動 健康安全	<ul style="list-style-type: none"> 生徒はボランティア活動や体験的な学習に積極的に参加している。 健康管理や安全指導を適切に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も学校の経験が、将来に繋がるようになるよう指導をお願いしたい。
改善方策	地域と連携を図り、社会貢献や体験的学習を通じて、生徒一人ひとりの自己肯定感を高める。	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教職員の 資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修は充分に実施している。 ・働き方改革を意識し、調和のとれた生活の実現を図るため、ワークライフバランスに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の一層の推進に向け、ICT機器を活用した校務の効率化を継続的に進めるようお願いしたい。
改善方策	<p>教職員のコミュニケーションを高め、互いに学び合う意識を醸成するとともに、課題の共有とやりがいを実感できる職場環境の充実に努める。</p>	
公表方法	<p>・「自己評価書」「学校関係者評価」「学校評価報告書」「生徒アンケート結果」「保護者アンケート結果」「地域住民アンケート結果」をWebページに掲載する。</p>	

- 3 添付資料
自己評価書・学校関係者評価、生徒アンケート結果、保護者アンケート結果、地域住民アンケート結果